



施設一体型小中学校の新校舎を見学 永明小学校・永明中学校新校舎見学会

7月20日、諏訪圏域で初となる施設一体型小中学校として4月から利用が始まっている永明小学校・永明中学校新校舎の見学会が開催され、市内外から約600人が訪れました。

見学会では、新校舎の見学やメディアセンターでの市長・教育長による読み聞かせ、合唱団（永明小・米沢小）・和太鼓クラブ（永明小）による発表などが行われました。

新校舎見学には、在校生の保護者や祖父母、同窓生など幅広い年齢層の方が訪れ、新校舎の木の香りとぬくもりを感じながら見学をしていました。

読み聞かせは、階段状の床が設けられたプレゼンテーションスペースで行われ、プロジェクターに絵本を投影しながら今井市長は「だいくとおにろく」、山田教育長は「タンゲくん」を読み聞かせました。



茅野市の政治・子育て支援を学ぶ 泉野小学校 校外教育活動

7月19日、泉野小学校6年生が、社会科の単元「子育て支援の願いを実現する政治」の学習の一環として茅野市の施設を訪れました。

茅野市でどのような子育て支援が行われているかを知ると共に、市役所が市民の声を形にしたり、市議会での予算の決定をしたりする仕組みを理解するため、市役所こども部や市議会、こども館0123広場、CHUKOらんどチノチノを各施設の職員の説明を受けながら見学しました。



オオムラサキの飛び交う森に 小泉山体験の森 オオムラサキ放蝶会

7月13日、小泉山体験の森内の保護施設で育てられたオオムラサキの放蝶会が開催されました。

放蝶会では、子どもたちが一匹ずつ羽化したオオムラサキを手に持ち、合図とともに一斉に大空へ放ちました。元気よく羽ばたいていくオオムラサキを笑顔で見届けました。放蝶のほかに、保護施設内の見学も行われ、オオムラサキがバナナを食べる様子などを観察したり、写真に収めたりしてオオムラサキに親しむ様子が見られました。



平和への想いを作文に 非核平和作文コンクール表彰式

7月22日、茅野市役所で、茅野市非核平和事業「非核平和作文コンクール表彰式」が開催されました。

当日は、最優秀賞を受賞した8名（市内各中学校から2名ずつ）が今井市長から表彰状を受け取り、「広島平和の旅」参加への抱負を発表しました。

「広島平和の旅」は、コンクール受賞者が、平和記念式典への参列や原爆ドーム・原爆資料館の見学、被爆者のお話を聞くなどして、非核平和についての理解・関心を深めるものです。



故郷の良さを知ってもらう機会に 北八ヶ岳ロープウェイ乗車券の寄贈

7月19日、株式会社北八ヶ岳リゾートから、市内の全小中学校13校に「北八ヶ岳ロープウェイ往復乗車券」が寄贈されました。全児童・生徒と職員分を合わせて4598枚となります。

北山小学校で行われた贈呈式には、両角社長と両角支配人が訪れ、同校分の117枚を岩崎児童会長と宮坂校長に手渡しました。両角社長は「山頂の坪庭では、希少な高山植物も見られ、夏でも涼しい。夏休みの自由研究や涼みに出掛けてもらえたら」と話しました。



お互いの国の生活や文化に触れる ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業

7月18日～26日、茅野市とアメリカ合衆国コロラド州ロングモント市との姉妹都市ホームステイ交流事業が行われ、ロングモント市から、16歳～17歳の生徒7人と2人の付添者が訪れました。

滞在期間中は、市内の9家族のホストファミリーのもとでホームステイをしながら市内保育園、小中学校、高校への訪問や空手・阿波踊り・浴衣着付けの体験、ホストファミリーとの交流、市内および県内の見学などを行い、日本の生活文化を体験したり、市内の子どもたちと交流を深めたりしました。

この事業は、交流により両市の親睦を深める中で、お互いの国の生活や文化を体験することにより、国際感覚を養い国際的な視野を持つ人材を育成する目的で、1991年から行われています。

